

第1回 栗東市自殺対策推進協議会 要点録

(2023 年9月1日作成)

1	会議の名称	第1回 栗東市自殺対策推進協議会		
2	会議の開催日時	2023 年8月 29 日(火) 15 時 30 分～16 時 30 分		
3	会議の開催場所	コミュニティセンター治田東	公開の可否	可
4	事務局(担当課)	障がい福祉課	傍聴者数	0名
5	非公開の理由 (非公開(会議の一部非公開を含む。)の場合)			
6	協議事項	(1) 第2期栗東市自殺対策計画 計画策定の概要 (2) 栗東市における自殺の現状 (3) 自殺対策に関する現状と課題 (4) 今後のスケジュール		
7	審議等の内容	別紙のとおり		

第1回 栗東市自殺対策推進協議会 要点録

(2023年8月27日(火)開催)

開会

事務局

定刻より早い時間ですが皆様お揃いになりましたので、第1回栗東市自殺対策推進協議会を開催します。開催に当たりまして、市民憲章を唱和します。

(市民憲章唱和)

事務局

会長よりご挨拶をお願いします。

(会長挨拶)

事務局

ありがとうございます。

本年度より委員になられた方々へ委嘱状を交付いたします。

(委嘱状交付)

事務局

新しい委員の方もいらっしゃいますので、委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと思います。

(委員・事務局の自己紹介)

事務局

続いて、本日の資料の確認をさせていただきます。

(配布資料確認)

事務局

それでは、会長に議事進行をお願いします。

会長

協議に移る前に、協議会の公開について事務局に確認します。傍聴者はいかがでしょうか。

事務局

本推進協議会の傍聴の申し込みはありませんでした。

本市では「栗東市附属機関等の会議の公開に関する要領」において会議は基本的に公開となっております。昨年度も公開を決定させていただきました。また、先着5名の傍聴が可能となっております。本日は傍聴希望者が1名いらっしゃいます。

会長

「栗東市附属機関等の会議の公開に関する要領」に基づき、公開とすることについて意義はありませんか。

(異議なしの声)

会長

ありがとうございます。それでは本推進会議を公開とします。

(1) 第2期栗東市自殺対策計画 計画策定の概要

会長

議事の(1)について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に沿って説明)

会長

事務局より、計画の策定概要について説明をいただきました。

ご質問のある方は挙手をお願いします。

委員

他市町では、健康づくり計画の中で自殺率の目標を定めているところもあります。健康りっとう 21 と栗東市自殺対策計画が並列となっています。重複するところはないのでしょうか。

事務局

自殺対策計画において自殺対策の啓発、こころの健康の啓発、ゲートキーパー等の人材育成を掲げており、健康りっとう 21 でも掲げています。

委員

重複する内容もあるものの、別計画として推進していくということでしょうか。

事務局

その通りです。

委員

健康りっとう 21 から自殺対策の内容を削除しているということはありますか。

事務局

健康りっとう 21 から自殺対策を抜き出したというわけではありません。

委員

自殺対策は幅広い分野をカバーしており、その方向性が各個別計画に影響しているというイメージだと思います。

事務局

計画の位置づけについて、調整したいと思います。

(2) 栗東市における自殺の現状

委員長

議事の(2)について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に沿って説明)

会長

栗東市の現状について、質問等はいかがでしょうか。

委員

自殺の原因で健康問題が多いとのことですが、どういう経緯で健康問題が自殺につながるのか実例等があれば

事務局

県のデータの話になりますが、健康を理由とするケースの半数が精神、3割ががん等の疾病となっています。

委員

男女別の自殺者数推移について、市在住で、自殺で亡くなられた数ということでしょうか。

事務局

その通りです。

委員

資料が厚労省となっていますが、厚労省がどのように把握されているのでしょうか。

事務局

警察からの報告を厚労省が整理しているようです。

委員

男性の自殺が多くなっています。

国の方向性をみても女性への支援が重要ですが、栗東市では男性が顕著に多くなっていますので、次期計画では男性への支援を検討する必要があるのではないかと思います。

事務局

ご指摘いただいた傾向を踏まえ、今後の対策を検討したいと思います。

会長

栗東市の傾向を踏まえ、独自の取組ができるのかということを検討したうえで、次回以降取組等を報告していただければと思います。

また、目標値については国が算出方法を示しているものもございますので、そちらも参考にさせていただければと思います。

委員長

事務局案で進めていくということによろしいでしょうか。

(異議なしの声)

(3) 自殺対策に関する現状と課題

会長

議事の(3)について、説明をお願いします。

事務局

(資料に沿って事業の進捗状況を報告)

会長

栗東市の現状と課題について、質問等はいかがでしょうか。

委員

生活困窮者の相談ケースが増えているという話がありました。障がいのある人からの相談も増加傾向ですね。

事務局

増えています。

委員

企図者はいかがですか。

委員

企図者で救急搬送される人は、市外の人もいて正確な内訳はわかりませんが、2～30件くらいです。

委員

相談される人、自殺に至る人が増加傾向にあると思います。市の自殺者数のみで計画をつくるのではなく、相談先の充実や気づける人、声をかける人、つなげる人、地域の人がある場所といった様々な主体・機会を活用したり、サインを出せない人が出せるようにしたり、汲みとって適切なタイミングでつなげるようにすることが重要な視点だと思います。

事務局

自殺対策の前段である相談支援が重要な枠組みだと認識しています。コロナ等による孤立化、声なき声に気づき、つながることができるかということが課題だと思います。

昨年度、困窮者制度の敷居を下げるためのアプローチとして生活支援相談窓口を設けました。また、庁舎の中でも様々な関係部局が連携し、重層的な支援体制を来年度より実施できるよう取組を進めています。面でのつながりを深め、層でつながっていくことを意識しています。民生委員をはじめ、地域の様々な方々と協力し、進めていきたいと考えておりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

委員

ゲートキーパー研修を実施したとありました。幅広い方々の支援ができるよう、民生委員も研修をしています。気づけるかということで、見守りをしていますが、本当にしんどい人に出あえることが少ないです。個人情報壁があり、困っている人を見つけに行くことが難しいです。見守りが大事と言われていますが、つながっていけるような場所、コミュニティが減少しており、見守りも難しいです。ゲートキーパー研修を受けて、どこまで現場に入っていけるのか不安だと思っています。

事務局

市の職員を中心に研修を実施しており、過去には民生委員にも実施させていただきました。子ども食堂をされている団体も参加していました。

研修の中身は、自殺の現状や自殺に追い込まれる人に関する情報、傾聴のロールプレイ、窓口の啓発となっています。

市職員でも、直接窓口をしている職員でないと身近に思ってもらえない、実践につながりづらいという難しいところがあります。

地域で活動している民生委員などをはじめとした方から研修をしていく必要があると感じています。

委員

自殺される人が多くなる時期は精神的にしんどくなる時期と重なっているのでしょうか。

事務局

忙しくなる年度末が多いようです。

委員

組織や環境が変わるタイミング、学校で新学期が始まるタイミングが多いようです。

委員

子ども・若者について、小中学校でSOSの出しかたの教育があります。相談支援をするものとしては、自身が発信することを小さい頃から学べるというのは良いことだと思います。いのちの大切さを学ぶ教育とは具体的にどのようなことをされているのでしょうか。

事務局

学校教育課が主幹であり、SOSの出し方の教育の研修を教職員に実施しているほか、子どもに関わる関係団体

のネットワークの立ち上げに向けた動き、個別に課題を抱える人へのスクールソーシャルワーカーからのアプローチがあります。

委員

SOS の出しかたの教育を通じて、子どもが大きくなった時に相談できる場所を知るきっかけになれば良いと思います。

会長

様々なご意見をいただきましたので、計画に反映いただければと思います。

(4) 今後のスケジュール

会長

議事の（4）について、説明をお願いします。

事務局

(資料に沿ってスケジュールを報告)

会長

スケジュールについて、質問等はいかがでしょうか。

その他

会長

それでは進行を事務局にお返しします。

事務局

活発なご議論をいただき、ありがとうございます。

閉会にあたりまして、副会長よりご挨拶をお願いします。

(副会長挨拶)

事務局

ありがとうございました。これにて、本日の推進協議会を終了します。

<閉会>